

効果的な就業・就職マッチングのためのフォーマットによる求人情報の提供

利用対象：求人を行う農業法人等

農林漁業就業・就職フェア等で求人情報を提供する際、農業法人の求める人材像や、どのような働き方ができるかがわかる資料がなく、作目や地域などの表面的なマッチングにとどまっている。

求人情報を提供するためのフォーマットを改善

(1) フォーマットの掲載項目

項目	備考	作成例の掲載場所	項目	作成例の掲載場所
経営理念・経営方針	なぜその理念・方針を持つに至ったかを記載	①	従業員数	⑧
事業内容	具体的に記載。但し一般の人が理解し易いよう専門用語は避ける	②	勤務地	
法人の特徴	可能な限り経営者でなく社員から見た特徴を記載	③	採用予定人数	
一日のスケジュール	具体的な一日の作業内容を紹介	④	給料・待遇	
キャリアプラン	知識や技術習得を段階的に記載	⑤	応募資格	
社員の意見	主に若い社員の意見を記載	⑥	勤務時間	
募集人材の仕事内容	なるべく具体的に記載	⑦	休日	

(2) 求人情報の作成例（表裏）

株式会社 ○○



お客様に喜ばれる仕事をする
○○のお客様は、お米や野菜を買ってくださる消費者の方、そして田んぼを貸してくださる地主さんです。
消費者の方においしいものをお届けする、地主さんにこの人に田をお願いしてよかったと思っていだく、それが当社の仕事です。そのために社員一人一人が責任を持って仕事をしていきます。

事業内容
○A町の90haで米・麦大豆等の生産をしています。JA販売の地に直接販売もしています。
○無人ヘリコプターを使って防除作業を受託しています。

わが社の特徴
・**長期勤務** 長く仕事を続けられる環境。
・**年齢層が幅広い** 20代から70代まで計11人で働いています。
・**地域貢献** 夫婦岩（二見興玉神社）の注連縄用の葉を生産しています。
・**雇外課員** 地元小学校で手作りおもちゃつきを実施しています。

1日のスケジュール



季節によって作業内容が変わりますが、春夏秋冬の作業をしています

1年間の作業の目安
大豆播種作業では
◆除草剤散布・・・軽トラで散布機に水・農薬の補充
◆播種作業・・・播種機への大豆種子の補充や種子消毒など
◆農機管理・・・排水対策を行ったり、手作業で除草や害虫駆除

種子消毒作業の様子

キャリアアップのイメージ
大型機械のオペレーター（農機操縦者）として活躍してもらうために、徐々にステップアップしていけるようサポートします。



苦勞することは、専ら中心で体力的に大変なこと。田んぼの位置を覚えることです

5年目以降
◆作業責任者になる
◆収入社員のドライバー役

8年目以降
◆田植機やコンバイン作業などのオペレーターの仕事を覚える

1年目
◆企業オペレーターの補助
◆トラクター作業のオペレーターの仕事を覚える

◆先達の補助や単純作業中心
◆1年間の仕事の流れと、田んぼの場所を覚える

社員から見た ○○はこんな会社です！
○コミュニケーション重視でみんなが楽しい・働きやすい。
当社の農作業はオペレーターとそれを補助する人のチーム作業です。それぞれの能力や経験に合った作業を担当しています。チーム作業にはコミュニケーションが欠かせませんが、うちは若い社員が多く、コミュニケーションがよく相談できる相手も多いため、20代4人、30代2人、40代1人、50代2人、60代4人、70代1人と同世代の仲間が複数います。また、皆で一緒に休んでみんながおいしい、雑談や相談したり作業改善に取り組みしています。
お互い助け合う気持ちがあるから、作業効率も上がるし、休日もとりやすい職場です。

○地域の貢献が活発です。
当社が耕作する田んぼは、会社から近い場所にも集中しています。だから社員は田んぼをお借りしている地主さんと顔見知りです。社員は田んぼを地帯で覚えるのではなく、「Aさんの」田んぼとして覚えています。一人一人の地主さんの顔を思い浮かべながら、地主さんに喜んでもらえるように丁寧に作業をすること。株式会社○○は地域の人のかわりを大事にしながら、これからは地域から喜ばれる企業をめざします。

みなさんが協力し合い、長く働きやすい職場です

所在地：電話番号：
勤務地：
給料、待遇：
勤務時間：

興味のある方、まずは気軽に見学にお越しください

(表面)

(裏面)

(3) 求人情報に関する求職者の感想

1日のタイムスケジュールがあるのがわかりやすい(4)	写真が欲しい(2)
キャリアプランがあるのが参考になる(2)	一般の人には難しい表現がある(1)
社員の詳細な情報(男女比・年齢)がほしい(2)	苦勞する点が欲しい(1)
若い社員や女性の働き方を詳しく紹介してほしい(2)	他の法人の資料も欲しい(2)

注：()内の数字は人数

お問い合わせ先	地域連携研究課	飯場聡子	電話 0598-42-6356
	中央農業改良普及センター	中西理、片岡文男	電話 0598-42-6715
参考になる資料	三重農研HP: http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		